

樹林墓地使用者募集

青梅市墓地公園の樹林墓地(樹林を墓標として多くの焼骨を共同で埋蔵する墓地)の使用者を募集します。
申込区分等 下表参照
※各申込区分の募集数に申込数が満たない場合は、差分を他の申込区分へ振り替えます。
※申込状況に応じて補欠者の抽選を行います。

★埋蔵しようとする焼骨を現に所持している場合 次の条件をすべて満たしている方
①申込者と埋蔵しようとする焼骨との関係が次のいずれかに該当すること。
▽6親等以内の血族
▽配偶者
▽3親等以内の姻族
▽養父母または養子
▽その他市長が特に認められたもの
②平成31年4月1日から起算して3年前から引き続き青梅市に住所を有し、かつ、住民基本台帳法に基づき青梅市の住民基本台帳に記録されていること。

★埋蔵しようとする焼骨を現に所持していない場合(生前申し込み)
次の条件をすべて満たしている方
①申込者が自己のために使用する目的であること。
②31年4月1日から起算して3年前から引き続き青梅市に住所を有し、かつ、住民基本台帳法に基づき青梅市の住民基本台帳に記録されていること。

③申込者が31年4月1日時点で満65歳以上であること。
その他 分骨による申し込み不可▽すでに埋葬、納骨された焼骨での申し込み(改葬不可▽現に所持している焼骨のため)の申し込みは焼骨1体につき1件に限る▽自己のための生前の申し込みは申込者1人につき1件に限る▽次の①～④の場合は申し込みを無効とする①同一人が同一焼骨で二重に申し込みした場合②同一焼骨で複数の者が申し込みした場合③同一人が生前の申し込みを二重に行った場合④提出書類に不備がある場合
申込書の配布 10月2日～29日に環境政策課(市役所5階)、夜間窓口(市役所1階)、各市民センターで配布します。
申し込み 15日～31日(土・日曜日を除く)の午前8時30分～午後5時15分に直接環境政策課へ
▽郵送:31日(消印)までに198-8701青梅市環境政策課へ
※申込数が募集数を上回った場合は11月18日(月の午前10時から市役所議会議棟3階大会議室で公開抽選を行います。問い合わせ 環境政策課管理係

樹林墓地見学会・説明会

樹林墓地の構造、焼骨の埋蔵方法を説明します。
日程 10月1日(火)、6日(日)
時間・集合場所 ①午前10時30分から②午後1時30分から③3時から(各回45分程度)・青梅市火葬場第1駐車場内集合
申し込み 9月17日～27日に電話または直接環境政策課管理係(市役所5階)へ

申込区分	募集数	樹林墓地使用料
1 焼骨所持1体	60体	131,000円
2 焼骨所持2体		262,000円
3 焼骨所持1体+生前1人	20体	262,000円
4 生前1人	10体	131,000円
5 生前2人	20体	262,000円

不動産無料相談会

弁護士、税理士、宅地建物取引士が、不動産に関する法律、税務、取引等の相談を受け付けます。
日時 10月1日(火) 午前10時～午後4時
会場 市役所2階201～203会議室
持ち物 相談内容の資料(お持ちの方)
共催 (公社)全日本不動産協会東京都本部多摩西支部
直接会場へ
問い合わせ 市民安全課市民相談係

東京都行政書士による無料相談会

行政書士が相続、遺言、契約、各種許認可などの手続き、書類作成等の相談を受け付けます。
日時 10月8日(火) 午前10時～午後4時
会場 市役所2階202会議室
持ち物 相談内容の資料
直接会場へ
問い合わせ 市民安全課市民相談係

ぷらっとカフェ「AIチャットボットの可能性」

市では、ごみ分別を適正に行うことによってリサイクルの推進を図るため、AIチャットボット(パソコン等の端末上で人工知能により対話形式による応答ができるロボット)の実証実験を行っています。ごみ分別以外の問い合わせにもAIチャットボットを活用するため、さまざまなアイデアを求めて「AIチャットボットの可能性」をテーマに語り合います。初めての方も気軽にご参加ください。
日時 9月26日(木) 午後6時から(3時間程度)
会場 市役所2階喫茶コーナー
定員 先着50人(予約制)
費用 300円(茶菓代)
申し込み 住所、氏名、電話番号、メールアドレスを電話または電子メール div0120@city.ome.tokyo.jp で企画政策課へ



リサイクルショップをご利用ください

リサイクルショップでは、変わりますので、ぜひ足を運んでみてください。また、大きな家具等、購入した商品の有料配送サービスもあります。
主に自転車、タンス、テーブル、ベッド、衣装ケース、ゴルフクラブ等を展示していますが、その時によって



消費者相談室から297

「ご存じですか」エシカル消費

「エシカル」とは「倫理的」という意味で、人や社会、環境に配慮した消費行動を「エシカル消費」といいます。
「買い物にマイバッグを持参する」、「環境に配慮した商品や地元や被災地の産品を購入する」など「これは誰が、どこで、どのように作っているの?」、「これを選ぶと環境にいいの?」というように、ちよつと立ち止まって考えて選ぶことが大切です。
買い物以外にも、食べ残しを減らす、マイボトルを利用する、省エネや節電を心がけるなど、すでに皆さんが日常生活の中で実践されていることも、たくさん含まれています。
都では「ちよつと考えて、ぐつ」という未来エシカル消費」というキャッチフレーズで、さまざまな取り組みを進めています。
自分のことだけでなく、周りの人や、社会や環境のことを考えて、毎日の生活に無理のない範囲で「エシカル消費」を取り入れてみませんか。
参考 東京くらしWEB ホームページ https://www.shouhiseika.tu.metro.tokyo.jp/manabita/ethically/ 消費者相談室 ☎22・6000(相談専用)

ごみ処理施設見学会

各家庭から排出されたペットボトルがリサイクルされる流れを実感できるコースです。ぜひご参加ください。
日程 10月16日(水)
行程 午前8時30分市役所集合→青梅市リサイクルセンター(昼食休憩)→エフピコ関東リサイクル工場(茨城県)→午後5時ごろ市役所へ

西多摩地区消防大会に第7分団、第8分団が出場します

今年で32回目を迎える西多摩地区消防大会は、西多摩8市町村の消防団の代表が消防ポンプ操法の技量を競い合う大会です。
市の代表として小型動力ポンプ操法の部に成木地区を管轄する第7分団が、自動車ポンプ操法の部に大門・東青梅・河辺地区を管轄する第8分団が出場します。両分団出場の際の勇姿をぜひご覧ください。
日時 9月22日(日) 午前10時～午後4時 ※予備日23日(祝)



会場 明星大学駐車場(長淵2-590)
内容 車両分列行進、ポンプ操法審査、定例表彰、東京消防音楽隊演奏、カラーガーズ隊演技等
問い合わせ 防災課消防係